

# 財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 羽後町

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,443	3,467	324	5,234

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	8,089	7,720	369	332	62	7,958	
一般会計等	8,086	7,717	369	332		7,958	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
上水道事業会計	219	167	53	589	66	461	26	法適用企業
病院事業会計	2,192	2,188	4	885	246	2,297	857	法適用企業
公共下水道事業特別会計	442	437	5	5	78	1,848	1,521	
農業集落排水事業特別会計	166	162	4	4	85	926	867	
国民健康保険事業特別会計	2,037	2,005	32	32	148	-	0	
老人保健医療特別会計	6	4	2	2	0	-	0	
介護保険特別会計	1,565	1,533	33	33	204	104	12	
老人福祉施設運営特別会計	587	484	103	103	1	-	0	
高瀬ケアセンター運営特別会計	433	343	90	90	1	473	44	
後期高齢者医療特別会計	134	134	0	0	65	-	0	
公営企業会計等 計				1,743		6,109	3,327	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。  
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△)で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
湯沢雄勝広域市町村圏組合 (一般会計)	3,908	3,886	22	22	0	3,788	594	
秋田市市町村総合事務組合 (一般会計)	15,532	15,294	237	237	1,047	0	0	
秋田市市町村総合事務組合 (交通災害共済事業等特別会計)	167	145	22	22	0	0	0	
秋田市市町村会館管理組合	126	106	20	20	0	0	0	
秋田県後期高齢者医療広域連合 (一般会計)	451	432	19	19	0	0	0	
秋田県後期高齢者医療広域連合 (後期高齢者医療特別会計)	132,767	128,389	4,378	4,378	1,293	0	0	
一部事務組合等 計				4,698		3,788	594	

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
五輪坂ハイツ	7	34	21	0	0	0	0	0	
羽後有機センター	0	8	2	3	0	0	0	0	
羽後町土地開発公社	0	45	5	0	0	0	0	0	
地方公社・第三セクター等 計			28	3	0	0	0	0	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	1,071	1,191	120
減債基金	157	149	△ 8
その他充当可能基金	729	698	△ 31
充当可能基金計	1,957	2,038	82

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	5.96	6.34	0.38	△ 14.85	△ 20.00	上水道事業	-	-	-
連結実質赤字比率	43.49	39.63	△ 3.86	△ 19.85	△ 40.00	病院事業	-	-	-
実質公債費比率	12.4	12.8	0.4	25.0	35.0	特定環境保全公共下水道事業	-	-	-
将来負担比率	96.0	83.4	△ 12.6	350.0		農業集落排水事業	-	-	-
財政力指数	0.27	0.26	△ 0.01						
経常収支比率	89.6	86.9	△ 2.7						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△)で表示している。  
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。  
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。